
宮崎県埋蔵文化財センター年報

第4号

平成12
(2000)
年度

2000

序

本年報は宮崎県埋蔵文化財センターが平成11年度に実施した各種事業の成果をまとめたものです。

宮崎県埋蔵文化財センターは、平成8年の独立以来5年目を迎え、東九州自動車道関連の調査事業も西都～清武間の現地発掘調査を終了し、現在高鍋～西都間の発掘調査が行われております。又、平成12年4月1日から組織改正があり課制となり、体制が充実しました。

埋蔵文化財をとりまく環境には、依然きびしいものがありますが、当センターとしましても、発掘調査のみならず教育普及の分野でも一層の成果をあげるよう努力いたしますので、関係各位のご理解とご援助をお願いいたします。

平成13年1月

宮崎県埋蔵文化財センター

所長 矢野 剛

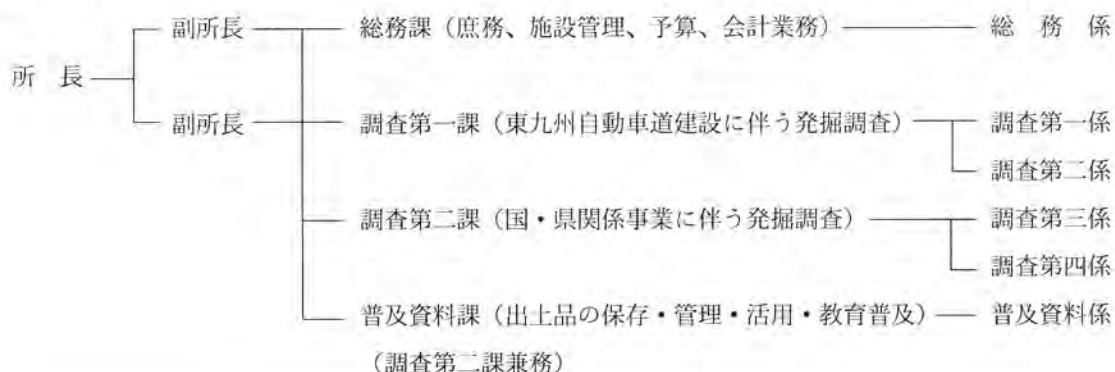
目 次

I	組織・施設	1
II	埋蔵文化財センターの沿革	3
III	宮崎県埋蔵文化財センター管理規則	4
IV	平成11年度の活動状況	9
1	埋蔵文化財緊急調査	9
(1)	発掘調査	9
(2)	発掘調査に伴う研究者の招聘及び職員の資料調査	11
(3)	出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	13
(4)	保存処理	15
(5)	収蔵整理	15
2	教育普及活動	16
(1)	展 示	16
(2)	埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」	17
(3)	施設公開	18
(4)	現地説明会	18
(5)	広報出版物	18
(6)	資料等の提供	19
(7)	研修・体験学習等の受入れ	21
(8)	会議・職員研修	21
(9)	職員派遣	22
3	平成11年度職員一覧	23

I 組織・施設

組 織

(平成12年4月1日現在)



所 長	矢 野 剛	主 査	松 田 清 孝	(嘱託)
副 所 長	菊 地 茂 仁	主任主事	阿 部 直 人	調 査 員 高 木 祐 志
副 所 長	岩 永 哲 夫	主任主事	小 山 博	調 査 員 秋 成 雅 博
総務課		主 事	久木田 浩 子	調 査 員 丹 俊 詞
(兼) 課長	菊 地 茂 仁	(嘱託)		調 査 第 二 課
総務係		調 査 員	工 藤 基 志	(兼) 課長 岩 永 哲 夫
係 長	亀 井 維 子	調 査 員	松 尾 有 年	調 査 第 三 係
主 査	松 原 明	調 査 員	金 丸 史 絵	係 長 菅 付 和 樹
主任主事	上 野 広 宣	調 査 第 二 係		主 査 南 正 覚 雅 士
主 事	平 田 ユミ子	係 長	長 津 宗 重	主 査 福 田 泰 典
調査第一課		主 査	南 中 道 隆	主任主事 竹 井 眞 知 子
課 長	面 高 哲 郎	主任主事	田 中 光	主任主事 加 藤 学
調査第一係		主 事	今 塩 屋 毅 行	主 事 甲 斐 貴 充
(兼) 係長	面 高 哲 郎	(高速道対策局・併)		(嘱託)
主 査	山 田 洋 一 郎	主 査	横 田 通 久	調 査 員 橋 川 敬 子
主 事	藤 木 聡	主 査	永 田 和 久	調 査 員 松 本 茂
(高速道対策局・併)		主 査	都 成 量	調 査 員 安 楽 哲 史
主 査	戸 高 幸 作	主 査	山 下 健 一	整 理 専 門 員 津 隈 久 美 子
主 査	倉 永 英 季	主 査	大 村 公 美 恵	調 査 第 四 係
主 査	新 町 芳 伸	主 査	栗 山 正 明	係 長 永 友 良 典
主 査	渡 部 誠 一 郎	主 査	草 薙 良 雄	主 査 柳 田 宏 一
主 査	永 野 高 行	主 査	外 山 宏 幸	主 査 鈴 木 健 二
主 査	倉 蘭 靖 浩	主 査	戌 亥 浩 志	主 事 橋 本 英 俊
主 査	尾 園 賢 二	主 査	吉 本 正 典	主 事 日 高 広 人
主 査	山 口 昇	主任主事	福 松 東 一	(嘱託)
主 査	鳥 原 孝 仙	主 事	和 田 理 啓	調 査 員 松 永 幸 寿
主 査	崎 田 一 郎	主 事	下 西 武 志	調 査 員 堀 田 孝 博

施設

(佐土原本館) 宮崎郡佐土原町大字下那珂4019

構造 鉄筋コンクリート造・木造平屋一部2階

床面積 2,119.67㎡

本館	1,745.99㎡	付属建物	373.68㎡
事務室	57.76㎡	整理作業棟	202.00㎡
所長室	19.68㎡	器材庫	47.50㎡
情報処理室	33.17㎡	その他	124.18㎡
会議室	78.52㎡		
休憩室	78.52㎡		
調査・研究室	248.55㎡		
復元整理室	293.44㎡		
一次処理室	96.81㎡		
図面整理室	61.62㎡		
写場	64.20㎡		
暗室	12.65㎡		
一次保管室(2層)	188.00㎡		
図書室(2層)	193.88㎡		
荷捌室	43.01㎡		
その他	276.00㎡		

(神宮分館) 宮崎市神宮2丁目4-4

構造 鉄筋コンクリート造2階

床面積 1,649.0㎡

1階	一次処理室	121.2㎡	2階	写場・暗室	49.4㎡
	復元整理室	148.3㎡		図書室	35.1㎡
	保存処理室	49.3㎡		研修室	53.1㎡
	鉄器	26.6㎡		収蔵整理室	19.3㎡
	木器	22.7㎡		収蔵室	564.0㎡
	整理研究室(兼事務室)	172.0㎡		特別収蔵室	54.0㎡
	所長室	13.0㎡			
	展示室	150.0㎡			
	器材庫	11.0㎡			

II 埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年月日	事項
1980 1981 1982	昭和55 56 57. 1. 9 7.29 10. 2	「埋蔵文化財調査センター建設計画」立案 基本設計を実施 起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長吉田敏明(兼博物館副館長)以下本務職員2名(岩永哲夫、谷口武範)、 兼務職員8名、嘱託2名発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」(講師:国立民族学博物館教授 佐々木高明)。
1983	58. 4. 1	センター長細川達雄発令。本務職員を3名(茂山護、岩永哲夫、谷口武範)に増員する。
1984	59. 4. 1	(茂山転出、菅付和樹転入)
1985	60.11. 2	文化財保護協調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61. 4. 1 61. 7	センター長久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62. 3 62. 4	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群-遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63. 3 63. 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行。 センター長長友巖発令。本務職員1名(菅付和樹)、兼務職員9名となる。
1989	平成 1. 4. 1	センター長石井祥博発令。本務職員1名(永友良典)、兼務職員11名となる。
1990	2. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳-遺物編」刊行。 兼務職員が13名となる。
1991	3. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡-資料編1」刊行。 センター長木幡文夫発令。 設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4. 4. 1	センター長藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展 '82-'91」を開催する。 脱塩装置・赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5. 4. 1 9.15	センター長後藤健志発令。本務職員1名(長津宗重)、兼務職員15名となる。 空調設備増設。
1994	6. 3. 8	特別収蔵庫設置。
1995	7. 1.29 2.16 4. 1	一般収蔵庫増設工事完成。 屋根防水工事完了。 センター長関屋清志発令。本務職員1名(長津宗重)、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係(調査部門)を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8. 4. 1	宮崎県埋蔵文化財センターとして総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第1係、 第2係、教育普及係(第2係兼務)を置く。 所長藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。 鶴島分室(旧婦人相談所:宮崎市鶴島2丁目11-25)を設置し、調査第1係(東九州自動車道担当)を置く。
1997	9. 3.17	分室を国富(旧国富農業改良普及センター:国富町大字本庄4777-2)に移転する。
1998	10. 4. 1	所長田中守発令。職員39名、嘱託8名になる。
2000	12. 2.15 12. 4. 1	佐土原に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の旧本館を分館とする。 所長矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。 職員52名、非常勤職員12名となる。

Ⅲ 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(平成 8. 3. 29 教育委員会規則第 5 号)

最終改正 平成12. 3 ・教育委員会規則第 8 号

(趣 旨)

第 1 条 この規則は別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事 業)

第 2 条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。

1. 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
2. 出土品その他の資料の保存及び活用に関すること。
3. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
4. 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び指導に関すること。
5. 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関すること。
6. その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関すること。

(組 織)

第 3 条 埋蔵文化財センターに、次の表の左欄に掲げる課を置き、課にそれぞれ同表の右欄に掲げる係を置く。

課	係
総 務 課	総務係
調 査 第 一 課	調査第一係 調査第二係
調 査 第 二 課	調査第三係 調査第四係
普 及 資 料 課	普及資料係

(分掌事務)

第 4 条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総 務 課

1. 職員の人事、給与及び服務に関すること。
2. 予算の執行及び決算に関すること。
3. 文書の收受、発送及び保存に関すること。
4. 公印の管守に関すること。
5. 施設及び設備の管理に関すること。
6. その他他の課の所管に属さない事項に関すること。

調査第一課

1. 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第 1 号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

調査第二課

1. 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第 1 号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

普及資料課

1. 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関すること。
2. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
3. 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸し出しに関すること。
4. 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関すること。

(職及び職務)

第 5 条 埋蔵文化財センターに次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
所 長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 所 長 (二人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課の事務を処理する。
係 長	上司の命を受けて、係の事務を処理する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2. 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。
3. 第一項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は次の通りとする。
 - 第一順位 統括の副所長
 - 第二順位 業務担当の副所長
4. 第一項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要なに応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
副 参 事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を処理する。
主 任	上司の命を受けて、専門的業務を処理する。
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

- 第6条 前条に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要なに応じ、その他の職員の職として技術員を置く。
2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

(開館時間等)

- 第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。
2 埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休 館 日)

- 第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区 分	休 館 日
宮崎県埋蔵文化財センター	1. 土曜日及び日曜日 2. 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。） 3. 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで（休日を除く。） 4. 特別整理期間（あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。）
宮崎県埋蔵文化財センター分館	1. 月曜日（休日に当たるときを除く。） 2. 休日の翌日（土曜日・日曜日又は休日に当たるときを除く。） 3. 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで 4. 特別整理期間

- 2 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項各号に掲げる日に開館し、又は同項各号に掲げる日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

- 第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。
1. 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
 2. 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
 3. 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。
 4. 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。
 5. 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

- 第10条 館内において資料等を利用しようとする者は、資料等館内利用承認申請書（別記様式第1号）を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

- 第11条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。
1. 国立の博物館、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部大臣又は宮崎県教育委員会が博物館に相当する施設として指定したもの
 2. 社会教育法（昭和24年法律第207号）第21条に規定する公民館
 3. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
 4. 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関
 5. 市町村立の歴史民族資料館等で宮崎県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が定めるもの。
 6. その他教育長が適当と認めるもの
- 2 資料等の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても、当該資料等の返還を求めることができる。
- 3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書（別記様式第2号）を所長に提出し、所長の承

認を受けなければならない。

- 4 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。
1. 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
 2. 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
 3. 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁 償)

第12条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委 任)

第13条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの運営管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則(抄)

(施行期日)

1. この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則(平成12.3.31 教育委員会規則第8号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

別記

様式第1号（第10条関係）

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

（法人にあっては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名）

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第10条の規定により、次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

（法人にあっては主たる事務所の所在地、名称）
及び電話番号並びに代表者の氏名・押印

資料等の館外貸出しを受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第11条第3項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日から 年 月 日まで		

IV 平成11年度の活動状況

埋蔵文化財センターは次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の発掘調査及び研究
- 2 出土品その他の資料の保存活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財保護思想の普及啓発

平成11年度は以下に記述する事業を実施した。

1 埋蔵文化財緊急調査

(1) 発掘調査

東九州自動車道や国道をはじめ、国、県施設の建設に伴う分布調査や確認調査、発掘調査を実施している。平成11年度は林遺跡（延岡市）、蔵座村遺跡（川南町）、下那珂遺跡（佐土原町）、大島畠田遺跡（都城市）など19遺跡を本調査した。各々の遺跡の概要については、別に刊行予定の『平成11年度埋蔵文化調査一覧』を参照されたい。

確認調査一覧

	遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査対象面積	調査担当	主な遺構・遺物
1	堂山	縄文・弥生	高千穂町 大字三田井	西臼杵農業改良普及センター建設	H11.11.15 ～11.18	60,000	高橋 誠	
2	宮ノ東	旧石器・古墳・古代	西都市 大字岡富	東九州自動車道建設	H12. 1.24 ～ 3.29	21,900	草薙 良雄	
3	向原第1		新富町 大字新田	東九州自動車道建設	H12. 3.22 ～ 3.29	15,300	戸高 幸作	
4	勘大寺	旧石器	新富町 大字新田	東九州自動車道建設	H12. 3.22 ～ 3.29	16,900	田中 光	
5	永牟田		新富町 大字新田	東九州自動車道建設	H12. 3.23 ～ 3.29	24,600	戌亥 浩志	

発掘調査遺跡等一覧 1

	遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査面積	調査担当	主な遺構・遺物
1	内城跡	縄文・中世	佐土原町大字東上那珂	国道 219号道路改良（春田バイパス）	H11. 4. 7 ～11. 1	6,500	福田 泰典 松本 茂	集石遺構、炉穴、空堀、虎口状遺構、局部磨製石斧、押型文土器、打製石斧、石鏃

発掘調査遺跡等一覧 2

	遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査面積	調査担当	主な遺構・遺物
2	林	旧石器、古墳、中近世	延岡市伊形町	延岡道路	H11. 4. 8 ～ 8.24	3,500	日高 広人 松永 幸寿	集石遺構、竪穴住居跡、牛馬埋葬土坑、掘立柱建物跡、ナイフ形石器、剥片尖頭器、三稜尖頭器、スクレイパー、彫器、石錐
3	大島畠田	古代	都城市金田町	農用地総合整備事業	H11. 4.12 ～11. 8	6,000	谷口 武範 柳田 宏一 橋川 敬子	掘立柱建物跡、溝状遺構、池状凹地、門、道状遺構、土坑、陶磁器、土師器
4	中尾	古墳・中世	都城市葦原町	農用地総合整備事業	H11. 4.14 ～ 7.23	4,000	久木田浩子	竪穴住居跡、畠跡、土師器、須恵器、石鏃、鉄鏃、砥石、敲石
5	山中前	縄文・弥生	小林市大字細野	県道霧島公園小林線道路改良	H11. 4.12 ～ 5.21	224	甲斐 貴充	溝状遺構、縄文土器、弥生土器、石器
6	葦原	古墳	都城市葦原町	農用地総合整備事業	H11. 4.21 ～10.21	4,200	鈴木 健二 安楽 哲史	竪穴住居跡、掘立柱建物跡、畠跡、縄文土器、弥生土器、須恵器、土師器
7	大野原	縄文	高千穂町大字三田井	広域農道西白杵3期	H11. 5. 6 ～ 7. 9	770	高橋 誠 下田代清海	縄文土器、磨製石斧、打製石斧、土坑
8	楠木原	近世	日南市大字吉野方	広域農道沿海南部地区	H11. 6.14 ～ 6.25	885	甲斐 貴充	近世瓦、陶磁器
9	島廻	古代・中世	西都市大字右松	西都簡易裁判所改築	H11. 7. 9 ～ 8.27	200	南正覚雅士	須恵器、土師器、陶磁器
10	龍泉寺	近世	宮崎市大字糸原	倉岡ニュータウン	H11. 8. 2 ～11.11	2,500	和田 理啓 福松 東一 大村公美恵	近世墓、石塔、陶磁器
11	五ヶ村	縄文・弥生	高千穂町大字岩戸	広域農道西白杵3期	H11. 8. 9 ～11. 8	990	高橋 誠	竪穴住居跡、集石遺構、縄文土器、弥生土器、石斧、石鏃、石匙
12	本城原	中世	野尻町大字東麓	主要地方道都城野尻線改良工事	H11. 8.23 ～12.24	5,000	福田 泰典 松永 幸寿	竪堀状遺構、土塁、虎口状遺構、白磁、青磁
13	蔵座村	縄文、弥生	川南町大字川南	国営尾鈴農業水利事業	H11.10.18 ～H12. 3.21	4,800	甲斐 貴充 松永 幸寿	竪穴住居跡、弥生土器、集石遺構、縄文土器、石器、土坑

発掘調査遺跡等一覧 3

	遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査面積	調査担当	主な遺構・遺物
14	下那珂	弥生	佐土原町大字下那珂	県総合農業試験場本場果樹園造成	H11.11.15 ～H12. 3.31	6,000	高橋 誠 鈴木 健二 安楽 哲史	竪穴住居跡、集石遺構、縄文土器、弥生土器、土師器、石包丁、石斧、磨石、石鏃、砥石
15	大岩田上村	縄文・中世 ・近世	都城市大岩田町	農用地総合整備事業	H11.11.17 ～H12. 3.29	10,000	南正覚雅士 松本 茂	溝状遺構、竪穴住居跡 縄文土器、弥生土器
16	雀田	中世	宮崎市大字跡江	県道宮崎南俣線道路改良事業	H11.11.25 ～H12. 1.31	700	南中道 隆 崎田 一郎	水田跡、溝状遺構、須恵器、土師器
17	井尻	古代・中世	宮崎市大字跡江	県道宮崎南俣線道路改良事業	H11.11.25 ～H12. 1.31	4,112	橋本 英俊 山口 昇	竪穴住居跡、水田跡、溝状遺構、布痕土器
18	柘野第一	縄文・古代	えびの市大字東長江浦	広域農道霧島北部2期	H11.12. 1 ～H12. 3.31	1,150	柳田 宏一 下田代清海	竪穴住居跡、陥穴状遺構 縄文土器、石鏃、弥生土器
19	鴉尾	中世	都城市今町	農用地総合整備事業	H12.1.24 ～H12. 3.30	1,500	福田 泰典	水田跡、畦畔、鋤先痕青磁、白磁、滑石石鍋

(2) 発掘調査に伴う研究者の招聘及び職員の資料調査

慎重な調査を要する遺跡の調査にあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の専門の研究者を招聘した。また、はっきりしない遺物や考古学以外の分析を必要とする遺物について職員を派遣し指導を受けた。

調査指導 1

所属・氏名	指導内容	場所	日程
福岡市教育委員会大規模事業担当課 総括文化財主事 吉留 秀敏	東九州自動車道関連遺跡出土の旧石器指導	埋蔵文化財センター国富分室	H11. 5.31 ～ 6. 2
別府大学文学部 教授 橋 昌信	林遺跡発掘調査指導	延岡市林遺跡	H11. 7. 8 ～ 7. 9
宮崎大学教育文化学部 教授 柳沢 一男	大島畠田遺跡発掘調査指導	都城市大島畠田遺跡	H11. 7.16
六戸地質研究所 所長 六戸 章	東九州自動車道関連遺跡出土の石器石材同定	埋蔵文化財センター国富分室	H11. 7.29
奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター 集落遺跡研究室長 山中 敏史	大島畠田遺跡発掘調査指導	都城市大島畠田遺跡	H11. 8. 9
六戸地質研究所 所長 六戸 章	東九州自動車道関連遺跡出土の石器石材同定及び県内産地調査	川南町、北方町、五ヶ瀬町、日之影町	H11. 9. 2 ～ 9. 3

調査指導 2

所 属・氏 名	指 導 内 容	場 所	日 程
太宰府市教育委員会 山本 信夫	中尾遺跡発掘調査指導	都城市中尾遺跡	H11.10.16 ～10.17
文化庁記念物課 文部技官 岸本 直文	内城跡出土遺物内容指導	埋蔵文化財センター	H11.10.22 ～10.23
鹿児島県立埋蔵文化財センター 文化財主事 宮田 栄二	東九州自動車道関連遺跡出土の 旧石器指導及び旧石器製作法	埋蔵文化財センター	H12. 1.10 ～ 1.11
別府大学文学部 教授 橋 昌信	東九州自動車道関連遺跡出土の 旧石器指導	埋蔵文化財センター	H12. 1.20 ～ 1.22

資料調査 1

目 的	出 張 先	日 程	出張者
東九州自動車道関係遺跡報告書作成に伴う資料調査（城館関係）	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 滋賀県立安土城郭研究所 ほか	H11. 7. 8 ～ 7. 9	崎田 一郎 橋本 英俊
東九州自動車道関係遺跡報告書作成に伴う資料調査（旧石器関係）	熊本県文化財収蔵庫	H11. 7.30 ～ 8. 1	時任 和守 木本 剛
東九州自動車道関係遺跡報告書作成に伴う資料調査（縄文後期土器関係）	熊本市立熊本博物館	H11. 8.25 ～ 8.26	菅付 和樹 倉永 英季
清武インター竹ノ内遺跡報告書作成に伴う資料調査（縄文後期土器関係）	熊本市立熊本博物館	H11. 8.25 ～ 8.26	高山 富雄 山田洋一郎
東九州自動車道関係遺跡報告書作成に伴う資料調査（古代の陶磁器関係）	京都市考古学資料館 京都文化博物館	H11. 9. 8	面高 哲郎
東九州自動車道関係遺跡報告書作成に伴う資料調査（中世の陶磁器関係）	神戸市埋蔵文化財センター	H11.10.20 ～ 10.21	戸高真知子
東九州自動車道関係遺跡報告書作成に伴う資料調査	神戸市博物館	H11.12. 3 ～12. 5	倉永 英季 和田 理啓
大島畠田遺跡発掘調査に伴う資料調査	福岡県福岡市	H11.12.11 ～12.12	谷口 武範
中尾遺跡・葦原遺跡発掘調査に伴う資料調査	神奈川県横浜市	H11.12.14 ～12.16	鈴木 健二 久木田浩子 安楽 哲史
東九州自動車道関係遺跡報告書作成に伴う資料調査（出土遺物分析関係）	福岡市埋蔵文化財センター	H12. 1.13 ～ 1.14	戸高真知子
本城原遺跡発掘調査に伴う資料調査 内城跡発掘調査に伴う資料調査	佐賀県唐津市、鎮西町、有田町 福岡県福岡市	H12. 1.19 ～ 1.21	福田 泰典 松本 茂 松永 幸寿
東九州自動車道関係遺跡報告書作成に伴う資料調査（縄文草創期土器関係）	福岡市埋蔵文化財センター	H12. 1.29 ～ 1.30	面高 哲郎
蔵座村遺跡発掘調査に伴う資料調査	千葉県佐倉市	H12. 2. 2 ～ 2. 4	甲斐 貴充

資料調査 2

目 的	出 張 先	日 程	出張者
東九州自動車道関係遺跡報告書作成に伴う資料調査（旧石器・縄文関係）	鹿児島県立黎明館	H12. 2. 5 ～ 2. 6	日高 裕司 鳥原 孝仙 田内 幸子
東九州自動車道関係遺跡報告書作成に伴う資料調査（中世の石塔関係）	鹿児島県川辺町	H12. 2.24 ～ 2.25	福松 東一 小山 博
埋蔵文化財発掘調査実施体制等調査	鹿児島県立埋蔵文化財センター	H12. 3. 3 ～ 3. 4	田中 守 面高 哲郎
五ヶ村遺跡・大岩田上村遺跡発掘調査に伴う資料調査	長崎県芦辺町・福岡県福岡市	H12. 3. 8 ～ 3.10	高橋 誠 南正覚雅士 下田代清海
埋蔵文化財発掘調査実施体制等調査	愛知県埋蔵文化財センター 三重県埋蔵文化財センター	H12. 3.13 ～ 3.15	菅付 和樹 日淺 雅道 和田 理啓
農用地整備事業関連発掘調査に伴う資料調査	愛知県名古屋、三重県四日市市	H12. 3.14 ～ 3.16	日高 広人 橋川 敬子
大岩田上村遺跡発掘調査に伴う資料調査	東京都	H12. 3.16 ～ 3.17	福田 泰典

(3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化財センターでは、発掘調査で出土した遺物等の水洗、注記から実測、製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。平成11年度に整理を実施した遺跡は22遺跡で、内訳は東九州自動車道関係及び青島バイパス等国、公団、公社からの受託事業が8遺跡、県土木事務所関係2遺跡、県農政水産部関係4遺跡、県教育委員会関係6遺跡、市町村事業2遺跡である。整理作業を終了した7遺跡については発掘調査報告書を刊行した。

出土遺物等整理実施遺跡一覧 1

遺 跡 名	事 業 名	事 業 者
林遺跡	延岡道路建設	建設省九州地方建設局延岡工事事務所
右葛ヶ迫遺跡	国道 220号青島バイパス建設	建設省九州地方建設局宮崎工事事務所
石用遺跡	国道10号宮崎西インター建設	建設省九州地方建設局宮崎工事事務所
友尻遺跡	国道10号宮崎西インター建設	建設省九州地方建設局宮崎工事事務所
鳥ノ子遺跡	国道10号宮崎西バイパス建設	建設省九州地方建設局宮崎工事事務所
鳥廻遺跡	西都簡易裁判所改築工事	福岡高等裁判所
蔵座村遺跡	国営尾鈴農業水利事業	九州農政局宮崎農業水利事務所
虎崩遺跡	国営大淀川右岸農業水利事業	九州農政局都城盆地農業水利事務所
王子原遺跡	国営大淀川右岸農業水利事業	九州農政局都城盆地農業水利事務所
黒草遺跡	国営都城盆地農業水利事業	九州農政局都城盆地農業水利事務所
東九州自動車道関係	東九州自動車道建設（清武～西都間）	日本道路公団九州支社宮崎工事事務所

出土遺物等整理実施遺跡一覧 2

遺 跡 名	事 業 名	事 業 者
大岩田上村遺跡	農用地総合整備事業	緑資源公団九州支社都城建設事務所
中尾遺跡	農用地総合整備事業	緑資源公団九州支社都城建設事務所
柿迫遺跡	倉岡ニュータウン土地区画整理事業	宮崎県住宅供給公社
龍泉寺遺跡	倉岡ニュータウン土地区画整理事業	宮崎県住宅供給公社
枯木迫遺跡	希望ヶ丘西土地区画整理事業	宮崎県住宅供給公社
竹ノ内遺跡	県道清武インター線道路改良工事	宮崎県土木部宮崎土木事務所
南学原遺跡	県道福王寺佐土原線建設工事	宮崎県土木部宮崎土木事務所
内城跡	国道 219号道路改築事業（春田バイパス）	宮崎県土木部宮崎土木事務所
本城原遺跡	主要地方道都城野尻線道路改良工事	宮崎県土木部小林土木事務所
山中前遺跡	県道霧島公園小林線道路改良工事	宮崎県土木部小林土木事務所
下那珂遺跡	県総合農業試験場本場果樹園造成事業	宮崎県農政水産部農政企画課
大野原遺跡	県営広域営農団地農道整備事業（西臼杵地区3期）	宮崎県総務部西臼杵支庁
布平遺跡	県営広域営農団地農道整備事業（西臼杵地区2期）	宮崎県総務部西臼杵支庁
古城遺跡	県営広域営農団地農道整備事業（西臼杵地区2期）	宮崎県総務部西臼杵支庁
楠木原遺跡	県営広域農営団地農道整備事業（沿海南部地区）	宮崎県農政水産部南那珂農林振興局
時屋地区遺跡群	県営農地保全整備事業時屋地区	宮崎県農政水産部中部農林振興局
柗野第1遺跡	県営広域営農団地農道整備事業（霧島北部2期）	宮崎県農政水産部西諸県農林振興局
西都原古墳群	西都原古墳群保全整備事業	宮崎県教育庁文化課
寺崎遺跡	国衙跡保存整備基礎調査	宮崎県教育庁文化課

発掘調査報告書刊行一覧

	巻 号	報告書名	サブタイトル	執筆者	備 考
1	発掘調査報告書 第21集	・石葛ヶ迫遺跡	一般国道 220号青島バイパス建設工事に伴う発掘調査報告書	日高 広人 久木田浩子	
2	発掘調査報告書 第22集	・石用遺跡 ・友尻遺跡	一般国道10号宮崎西インターチェンジ関連工事に伴う発掘調査報告書	和田 理啓 川崎 辰巳	
3	発掘調査報告書 第23集	・石塚城遺跡 ・鳥ノ子遺跡	一般国道10号宮崎西バイパス建設工事に伴う発掘調査報告書（3）	日淺 雅道 重山 郁子	
4	発掘調査報告書 第24集	・黒草第1・第2・ 第3遺跡 ・本野原遺跡 ・七野第3遺跡	大淀川右岸農業水利事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第3集	石川 悦雄 菅付 和樹	
5	発掘調査報告書 第25集	・上の原第2遺跡 ・上の原第1遺跡 ・白ヶ野第3遺跡 B地区	県営農地保全整備事業時屋地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2（第1分冊） 県営農地保全整備事業時屋地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2（第2分冊）	吉本 正典 松林 豊樹	
6	発掘調査報告書 第26集	・山中前遺跡	一般国道霧島公園小林線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	甲斐 貴充	
7	発掘調査報告書 第27集	・竹ノ内遺跡	一般県道清武インター線道路改築工事に伴う発掘調査報告書	高山 富雄 山田洋一郎	

発掘調査報告書刊行一覧

	巻号	報告書名	サブタイトル	執筆者	備考
8	発掘調査報告書 第28集	・大島畠田遺跡	農用地総合整備事業「都城地区」区画整理に伴う発掘調査概要	谷口 武範	
9	発掘調査報告書 第29集	・平田迫遺跡	東九州自動車道建設に伴う発掘調査報告書 1	川崎 辰巳	

(4) 保存処理

保存処理室では、鉄製品や木製品を保存処理している。宮崎県は、地下式横穴墓から多量の鉄製品が良好な状態で出土するため、年次的に鉄製品保存処理関係機器を整備してきた。木製品については、PEG含浸装置等が未設置であるため、委託あるいはバキュームシーラーでのパッキング等で対応している。また、市町村教育委員会からの備品の利用や保存処理の依頼についても受け入れている。

保存処理・調査研究関係備品一覧

設置場所	機器名	製品名(規格)	製造会社名	購入年	備考
鉄器保存 処理室	送風定温乾燥機	DN-61型	ヤマト科学	1983	漏電ブレーカー
	定温乾燥機	DN-94型	ヤマト科学	1992	
	鉄器樹脂含浸装置	300×1200		1983	
	精密噴射加工機			1983	
	精密噴射加工機	バリーブラスト50N	トーワ技研	1992	
	小型グラインダー	ミニタースタンダード	関東機器株式会社	1993	
	軟X線装置	ソフテックスSPC-1501	ソフテックス	1991	TVシステム
	小型空気圧縮機		日立製作所	1983	
	ドラフトチャンバー	CSF-K15	島津理化	1992	
木器保存 処理室	脱塩洗浄処理装置		滝口製作所	1992	
一次処理室	超音波洗浄器	5200J4	シャープ	1991	
	卓上バキュームシーラー	SQ-202	サララップ販売	1991	SQドレン付き
復元整理室	実体顕微鏡	SMZ-2T	ニコン	1991	写真撮影装置付
写場	赤外線TVカメラ	IRRS-100	浜松ホトニクス	1992	

(5) 収蔵整理

報告書作成が終了した遺跡の遺物、図面、写真などを適切に管理し一般に公開するため、収蔵整理を実施している。また、全国から寄贈された発掘調査報告書や購入図書、雑誌等についても台帳を作成し図書室に配置している。これらの資料類を関連づけて検索できるデータベースの構築が今後の課題となっている。

a. 発掘調査資料

平成11年度までにセンターに収蔵された資料は延べ229遺跡分、コンテナ数で9,527箱になり、鉄、木製品の数約850点を数える。報告書作成が終了した遺跡から順次登録台帳を作成しているが、台帳の作成は遺物、遺物実測図、遺構実測図、写真、コンテナ、収蔵棚の項目を設け各々に番号を付し、必要な資料について検索できるようにしている。平成11年度現在、遺物および遺物実測図については87遺跡、遺構実測図については35遺跡分の整理が終了した。遺物はコンテナ収蔵を基本とし、コンテナ外面に遺物登録番号、コンテナ番号、棚番号等を表示している。

収蔵整理実施遺跡一覧

	遺跡名	所在地		遺跡名	所在地
1	祇園原遺跡	児湯郡新富町	6	平尾・楢原遺跡	宮崎郡清武町・田野町
2	余り田遺跡	宮崎市	7	前田遺跡	宮崎市
3	天神河内第2遺跡	宮崎郡田野町	8	市位遺跡	宮崎市
4	霧島遺跡	児湯郡川南町	9	荒迫遺跡	高原町
5	高鍋城跡	児湯郡高鍋町			

b. 図書資料

全国から送られてくる発掘調査報告書や購入書籍・雑誌類を図書室に集架している。

平成11年度は2,710冊の受け入れがあり、累計収蔵数は31,000冊になる。図書類はパソコンによるデータベース登録を実施している。

2 教育普及活動

センター展示部門では、年4回「コーナー展」として最新の発掘成果を速報的に展示し、あわせて遺物整理作業を見学できるようになっている。また、毎月第4土曜日には埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」を開催し、11月の文化財保護強調週間には「施設公開」を実施している。さらに、埋蔵文化財の発掘調査成果を広く公開するため「現地説明会」を実施するなど、直接埋蔵文化財に触れることができるよう各種の普及活動を実施している。

(1) 展示

・常設展示

埋蔵文化財の保護と宮崎の歴史

文化財保護法と発掘調査の流れに関する解説

・コーナー展

展 示 テ ー マ	展 示 期 間	展 示 内 容
古代人の住まい (縄文から古代)	H11. 2.11 ～ 6. 6	住居跡の発掘写真や図面からの復原図紹介
発掘調査速報展 (平成10年度の発掘調査)	H11. 6.10 ～H12. 3.31	迫内2号横穴・倉岡遺跡(宮崎市)内屋敷遺跡(小林市)・上の原第3遺跡(清武町)出土の石器、土器などを展示

・埋蔵文化財センター新館落成記念展示

埋蔵文化財センター佐土原新館の落成に際し、新館落成記念展示を佐土原新館プレハブ棟にて開催した。

展 示 テ ー マ	展 示 期 間	展 示 内 容	入館者数
東九州自動車道関係発掘調査 成果展示(清武～西都間)	H12. 2.15 ～ 2.29	赤彩土器(塚原遺跡)岩偶(竹ノ内遺跡)旧石器(長齒原遺跡)木製品(町屋敷遺跡)石帯(平田迫遺跡)等	579名

・東九州自動車道清武・西宮崎インター開通プレイベント展示

平成12年3月15日の東九州自動車道(清武～西宮崎インター)の開通を前に宮崎西インターチェンジで開催されたプレイベントの一環として東九州自動車道関係の発掘調査成果を展示公開した。

展 示 テ ー マ	展 示 期 間	展 示 内 容	来場者数
東九州自動車道関係発掘調査 成果展示(清武～西都間)	H12. 3.12	赤彩土器(塚原遺跡)異形石器・石鏃(白ヶ野遺跡)弥生土器一括(下星野遺跡)須恵器一括(迫内遺跡)	約500名

(2) 埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」

毎月第4土曜日の午後1時30分から3時まで、講座を実施している。講師は県文化課、県内市町村専門職員、埋蔵文化財センター職員がつとめ、平成11年度は「弥生時代・古墳時代の生活と文化」という年間テーマのもと12回の講座を開講した。

開催日	講 座 の 内 容	講 師	受講者	会 場
H11. 4.24	日向の弥生時代の始まり	都城市教育委員会 桑畑 光博	31名	埋文センター研修室
5.22	弥生時代のくらし	宮崎県埋蔵文化財センター 橋本 英俊	43名	総合博物館研修室
6.26	弥生時代の集落	宮崎県埋蔵文化財センター 谷口 武範	51名	総合博物館研修室
7.26	松菊里型住居と花卉状住居	都城市教育委員会 横山 哲英	58名	総合博物館研修室
8.28	弥生時代の交流	宮崎県埋蔵文化財センター 高橋 誠	46名	総合博物館研修室
9.25	西都原古墳群の調査から	宮崎県文化課 松林 豊樹	42名	埋文センター研修室
10.25	シンポジウム「古墳時代における日向の地域性」	下記参照	146名	県民文化ホール
11.27	古墳時代の集落	宮崎県埋蔵文化財センター 久木田浩子	27名	埋文センター研修室
12.25	日向の埴輪	新富町教育委員会 有馬 義人	30名	総合博物館研修室
H12. 1.22	武器と武具	宮崎県埋蔵文化財センター 和田 理啓	25名	総合博物館研修室
2.26	地下式横穴の語るもの	宮崎県埋蔵文化財センター 甲斐 貴充	32名	総合博物館研修室
3.25	横穴墓の世界	熊本県宇土市教育委員会 藤本 貴仁	32名	総合博物館研修室

・シンポジウム

10月の講座はシンポジウム形式で県民文化ホールにおいて開催した。

テーマ：「古墳時代における日向の地域性」

開催日時：平成11年10月25日（土）午前10時～午後4時

開催場所：宮崎県総合博物館県民文化ホール

参加料：無料

シンポジウム講師・パネリスト及び講演内容

岸本直文（文化庁）「畿内大型前方後円墳の変遷」

大久保徹也（徳島文理大学）「首長墓から見た讃岐地域の動向」

柳沢一男（宮崎大学）「盟主的首長墳の動向からみた日向首長連合の消長」

司会：和田理啓・甲斐貴充（宮崎県埋蔵文化財センター）

(3) 施設公開

文化財保護強調週間の行事として施設公開を実施した。

開催日	内 容	参加者数
平成11年11月13日（土） 午前10時～午後4時	<ul style="list-style-type: none"> ・施設や整理作業の見学 ・赤外線カメラによる墨書土器の観察 ・軟X線装置による鉄器観察 ・実体顕微鏡による土器胎土の観察 ・拓本、土器接合等体験作業 など 	120名

(4) 現地説明会

平成11年度は1遺跡で説明会を実施した。

遺跡名	所在地	開催日	内 容	参加者数
大島島田遺跡	都城市金田町	平成11年9月5日（日） 午後1時から4時	緑資源公団による農用地総合整備事業に伴う発掘調査で10世紀後半から11世紀初頭にかけての館跡、溝状遺構、池状遺構など南九州最大級の屋敷跡が発見された。	約500名

(5) 広報出版物

埋蔵文化財保護啓発活動の一環として「埋蔵文化財 みやざき」の発行や埋蔵文化財講座、施設公開等についてもポスターやパンフレットの作成をおこなった。

	刊 行 物 名	発行年月日
1	シンポジウム「古墳時代における日向の地域性」資料集 『古墳の形と分布から何がわかるか？』	H11. 10
2	宮崎県埋蔵文化財センター年報第3号（平成10年度）	H12. 3
3	平成12年度宮崎県埋蔵文化財センター事業案内	H12. 3
4	宮崎県発掘調査情報第10号～第21号	H11. 4～H12. 3

(6) 資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には館内利用（資料の閲覧・実測等）と館外貸出及び掲載許可があり、平成11年度には館外貸出が10件、掲載許可が4件であった。

館外貸出

貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
西下本庄遺跡出土遺物 磁器（青磁壺） （皿） （輪花入子） 須恵器 東播系土器	2点 1点 1点 1点 1点	えびの市歴史民俗資料館企画展「いにしへの陶磁器展」展示	H11. 4.20 ～ 5.26	えびの市教育委員会
西都原古墳群出土遺物	1点			
平畑遺跡出土遺物	1点			
堂地東遺跡出土遺物	1点			
	1点			
寺崎遺跡出土遺物	1点			
	1点			
	1点	西都原資料館コーナー展「平成10年度出土資料展」展示	H11. 5.24 ～ 8.23	宮崎県総合博物館
	1点			
	1点			
	1点			
	1点			
	一括			
	1点			
西都原169号墳出土遺物	1点			
	1点			
	1点			
	一括			
西都原171号墳出土遺物	1点			
	1点	生涯学習センター埋蔵文化財展示室開設展示	H11. 6. 8 ～ H12. 3.31	西郷村教育委員会
内野々遺跡出土遺物	14点			
	2点	企画展「木花地区の歴史と文化財」展 展示	H11. 7.17 ～ 8.29	みやざき歴史文化館
堂地西遺跡出土遺物	3点			
	6点			
	2点			
	2点			
	8点			
	1点			
	24点			
平畑遺跡出土遺物	3点			
堂地東遺跡出土遺物	3点			
熊野原遺跡B地区出土遺物	4点			
前原北遺跡出土遺物	2点			
陣の内遺跡出土遺物	1点			

館外貸出 2

貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
日向国分寺跡出土遺物 創建期軒丸瓦 創建木平丸瓦	2点 2点	特別展「瓦の歴史」の展示	H11. 9.28 ～11.26	鹿児島県始良町歴史 民俗資料館
平田迫遺跡出土遺物 蔵骨器・石帯 土師器・須恵器 平田迫遺跡写真 スライド 上ノ原遺跡出土遺物 縄文土器	16点 2ケース 2点	教育研修センター特別研修 講座「宮崎県の遺跡と遺物」 での使用	H11.10.13	宮崎県教育研修セン ター
堂地西遺跡出土遺物 縄文章創期土器 堂地西遺跡調査状況写真ほか	18点 2枚	種子島開発総合センター特 別展「種子島の縄文時代の 夜明け ―海を越えての交 流―」展示	H11.10.26 ～12.22	鹿児島県西之表市教 育委員会
堂地西遺跡出土遺物 縄文章創期土器 (隆線文土器)	17点	企画展「ドキドキ新発見！ かごしま縄文さがし展」 展示	H11.12.22 ～ H12. 1.24	指宿市考古博物館 時遊館COCOはし むれ
塚原遺跡出土遺物 隆帯文土器 丸ノミ 石斧 石鏃 塚原遺跡(遺物・近景・石列)カラーポジ 蔵田遺跡出土遺物 隆帯文土器 石鏃 磨石 蔵田遺跡(近景・土層) カラーポジ 霧島遺跡出土遺物 爪形文土器 堂地西遺跡出土遺物 隆起線文土器 細石刃 石鏃 岩土原遺跡出土遺物 隆帯文土器 細石刃核	11点 一括 一括 一括 一括 17点 6点 2点 2点 10点 一括 1点 2点 1点 3点	企画特別展「縄文のあけぼ の展―南九州に花開いた草 創期文化―」展示	H12. 1.10 ～ 3.15	鹿児島県歴史資料セ ンター黎明館
長嶺原遺跡出土遺物 石鏃 ナイフ形石器 剥片尖頭器 三稜尖頭器 上ノ原遺跡出土遺物 縄文土器 平田迫遺跡出土遺物 土師器 須恵器 石帯 蔵骨器 瓦 紡錘車 平田迫遺跡写真 スライド	2点 1点 1点 1点 2点 2点 3点 1点 1点 1点 1点 2箱	教育研修センター 研修講座「宮崎県の文化財」 での使用	H12. 3.16 ～ 3.24	宮崎県教育研修セン ター

刊行物掲載（写真提供）

資料名	掲載刊行物名	依頼者	申請日
高原町広原遺跡の畝状遺構 宮崎市余り田遺跡の墨書土器	「宮崎県の歴史」	株式会社 山川出版社	H11. 8. 4
天神河内第一遺跡出土の前平式土器			H11. 8. 27
塚原遺跡出土の赤彩縄文土器	「歴史街道」 ワン・ショット・ヒストリー	PHP研究所	H12. 2. 22
塚原遺跡出土の赤彩縄文土器 塚原遺跡全景写真	「歴史読本」2000年6月号	株式会社 新人物往来社	H12. 3. 17

(7) 研修・体験学習等の受入れ

研修の一環として埋蔵文化財センターの見学や調査現場での体験学習を取り入れる学校、教育機関が増加している。平成11年度は小学校1校（1回）、高等学校2校（2回）、県教育研修センター2回の見学・実習があった。また、運営状況等の視察も6件あった。これ以外にも、多くの各種学校、史談会等が訪れている。

見学・研修・体験学習

内 容	場 所	依 頼 者	実 施 日	参加者数
特別研修（第一期）施設見学	埋蔵文化財センター本館	宮崎県教育研修センター	H11. 6. 22	26名
文科情報科一年「職場訪問」	埋蔵文化財センター本館	宮崎県立宮崎大宮高等学校	H11. 8. 4	5名
職場体験学習	埋蔵文化財センター本館	宮崎県立宮崎南高等学校	H11. 8. 5	5名
特別研修（第二期）施設見学	埋蔵文化財センター本館	宮崎県教育研修センター	H11. 10. 14	26名
埋蔵文化財センター見学	埋蔵文化財センター本館	宮崎市立潮見小学校	H11. 10. 14	60名
埋蔵文化財センター見学	埋蔵文化財センター本館	明治大学カルチェ・ヴィヴァン事務局	H12. 3. 15	35名

視察等

来 館 者	来 館 日	目 的
鹿児島県立埋蔵文化財センター 調査課 主任文化財主事 長野 真一 文化財主事 大保 秀樹	H11. 10. 25～10. 26	後期旧石器収蔵品実見 縄文草創期土器収蔵品実見

(8) 会議・職員研修

奈良国立文化財研究所で実施している発掘技術者研修や、全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会主催の各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

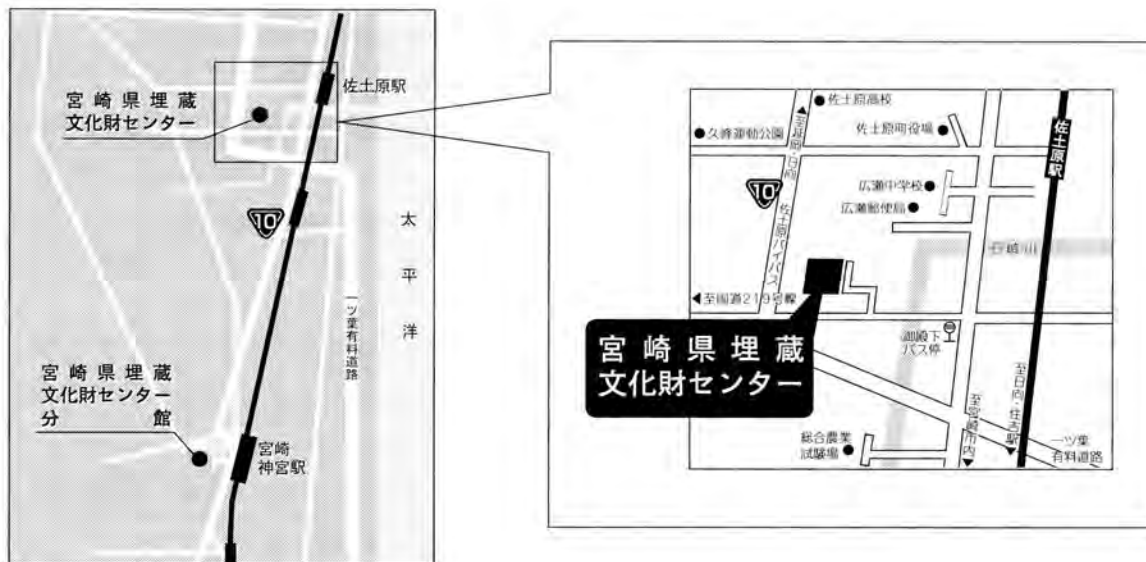
内 容	日 程	開 催 地	出 席 者
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	H11. 5. 26～ 5. 28	北海道苫小牧市	青山 尚友
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 中・四国・九州ブロック会議	H11. 9. 2～ 9. 3	鹿児島県鹿児島市	石川 悦雄

平成11年度職員一覧



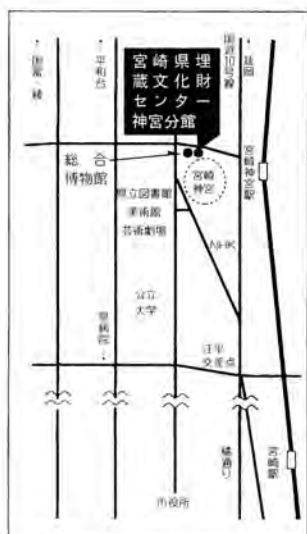
所長	田中 守	主査	草薙 良雄	(嘱託)	
副所長	江口 京子	〃	山口 昇	調査員	下田代 清海
庶務係		〃	鳥原 孝仙	〃	橋川 敬子
係長	児玉 和昭	〃	吉牟田 浩一	〃	廣田 晶子
主事	平田 ユミ子	〃	戌亥 浩志	〃	松本 茂
〃	上野 広宣	〃	日淺 雅道	〃	松永 幸寿
		〃	崎田 一郎	〃	安楽 哲史
調査第一係		主任主事	木本 剛	整理専門員	津隈 久美子
〒880-1101		〃	福松 東一		
東諸県郡国富町大字本庄		主事	橋本 英俊		
4777-2		〃	下西 武志		
TEL. 0985 (75) 2616		〃	和田 理啓		
(75) 2941					
FAX. 0985 (75) 2942					
係長	面高 哲郎	(嘱託)			
主査	南中道 隆	調査員	田内 幸子		
〃	山田 洋一郎	調査第二係			
〃	松田 清孝	係長	青山 尚友		
主任主事	戸高 眞知子	主査	石川 悦雄		
〃	小山 博	〃	柳田 宏一		
主事	田中 光	〃	南正覚 雅士		
(高速道対策局・併)		〃	鈴木 健二		
主査	時任 和守	〃	谷口 武範		
〃	高山 富雄	〃	福田 泰典		
〃	戸高 幸作	主事	高橋 誠		
〃	菅付 和樹	〃	日高 広人		
〃	倉永 英季	〃	久木田 浩子		
〃	日高 裕司	〃	甲斐 貴充		
〃	大村 公美恵				

(案内図)



宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎郡佐土原町大字下那珂4019番地
 Tel. 0985-36-1171・36-1172 Fax. 0985-72-0660
 ◎佐土原駅 (JR) 車10分 ◎御殿下バス停徒歩8分



宮崎県埋蔵文化財センター神宮分館

宮崎市神宮2丁目4-4 (〒880-0053)
 TEL 0985-21-1600
 FAX 0985-26-2634

- 宮崎神宮駅 (JR) 一徒歩10分
- 宮崎神宮行きバス—神宮終点下車徒歩10分
- 綾・国富・平和が丘行きバス—「博物館前」下車徒歩2分

位置

- 観覧時間
午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日
毎週月曜日 国民の祝日の翌日 年末年始(12月28日～1月4日)
- 入館料 無料

宮崎県埋蔵文化財センター年報第4号
平成12年度（2000）

編集・発行：宮崎県埋蔵文化財センター
880-0212
宮崎郡佐土原町大字下那珂4019
発行日：平成13年1月
印刷：小柳印刷株式会社
宮崎市旭1丁目6-25

宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎郡佐土原町大字下那珂4019番地
Tel. 0985-36-1171・36-1172 Fax. 0985-72-0660
◎佐土原駅（JR）車10分 ◎御殿下バス停徒歩8分